

白山市立北辰中学校 学年通信より

## 合唱コンクールを振り返って・・・ 3年1組

- ・たくさん大変なことがあったし、みんなが辛かったり悩んだりしたけどそんなこともあって、乗り越えたからこそコンクールで良い歌がうたえたから、すごく感動した。クラスでのトラブルはいい思い出になると思う。結果は本当に悔しかったけど、確かに他のクラスもうまかったし、どのクラスもすごく練習したと思うから感動した。でも悔しいしもう歌えないと思うときみしいし、31Hでの合唱を通しての団結力は優勝。
- ・最初は男子がダラダラしている人がいて大丈夫かなと思っていたけど「土・日に練習する」って男子が考えて、電話したって聞いて31Hの男子はすごいなって思った。みんな本当に一生懸命に優勝目指してがんばった。結果は残念だったけどみんな練習したのも思い出の一つ。
- ・合唱は、今年で3回目だったけど、今年はなんかいつもと気持ちが違った。だから練習の雰囲気はいつもと違って本当にがんばりたいなって気持ちになった。歌がだんだんと上達しているとき、もっともっとうまくなりたいっていう気持ちが高まったときすごくうれしかった。たまにまとまらなくて辛いときもあったけど、それを乗り越えたから、コンクールで良い歌が歌えたんだと思う。2組の歌を聴けなくて残念だったけど、どのクラスもうまくて感動した。歌の中の言葉がジーンってきた。今まで伴奏でしか舞台上に上がった事がなかったから、舞台上に立ったとき足がすごく震えたし緊張した。
- ・最初に歌ったときはバラバラで音も合っていないで、「本当に上手くなれるのか??」と思うくらいだったけど、日に日に上手くなっていくにつれて、「これはいける!」と思って練習した。けれど他のクラスも上手くなっていくので正直焦ったけど、団結して、土日にも練習したかいがあった。絶対にいい歌を歌う自信があった。その心を一生忘れないでおこうと思った。本番のとき、練習のときよりいい歌が歌えた。31Hの力を出し尽くしたと思った。強いライバルがいたけど自分の中では優勝だと確信していた。ペナントがとれなくてこれまでの大会で一番悔しい思いをした。けど、他にも、1組が1番良いと言ってくれる人がいるなら、悔いはないかな、と思った。
- ・他のクラスもとても上手くて、正直ちょっとビビっていた。(2年生も)でも、やっぱり学年だけじゃなくて、学校一の歌声にしたかったから自分のクラスに自信を持つようにしてがんばった。練習もどンドン声が大きくなって行って本当に嬉しかった。こんなに頑張るのは一生に数回だけだと言えるほど頑張ったと思う。本当に青春ってかんじだった。本番では、今まで創りあげてきた31Hだけの歌を聴いてほしいと思った。そして、聞いている人がぞくっときて頭の中から離れないような歌を歌いたかった。自分たちが楽しく歌って、聞く人も幸せな気持ちになってくれたら本当に最高の瞬間だと思う。
- ・最初男子の声が3年の中で1番大きいと言われて浮かれとったら他のところも大きくなってやばかった。2年生と練習したときは、2年3組の子たちがすごくてビビってあんまりいい合唱でなかったから、みんなしょんぼりしていたけど、その後の練習はみんなすごく気合いが入っていた。本番では、絶対優勝やと思った。だから、3組優勝って言われたときはビックリしすぎて涙も出なかったけど、教室でみんなと話しているときみんなが本当に頑張ったんによって思ってた涙が出てきた。でも、うちは1組の歌は本当に良かったと思う。

## 合唱コンクールを振り返って・・・

## 3年2組

- ・初めはいいスタートが切れたと思う。けど、いつの間にか32H全員がダラダラしていた。こういう雰囲気がおかしいと気付いたのは岡田先生が言ってくれたからだった。その後2年生と練習試合をして態度とかがだらけていて歌も負けた。情けなくて、悔しい思いも味わってやっとみんなが一つになれたと思う。休みの日も集まってすごく努力した。このクラスで、このメンバーで、この先生で一つの事に一生懸命取り組めてよかった！！
- ・初めの頃は「こんなの青葉じゃない」「2年前にかなわない」と思って心配していたけど、本番が近づくにつれてだんだん青葉らしくなってきた嬉しかった。特に前日とかも涙が出るくらい感動した歌が歌えた。結果的には1位になれなかったけど、悔いは一つもない！！みんなで一致団結して歌えたのが一番嬉しかった。32人では歌えなかったけどみんなが一人ずつ心の中で歌っていたと思う。心から青葉が歌えて良かった。そして、どのクラスも感動した。合唱の目標通り、「最高の心友ときらめき」しました。
- ・当日5日前になって先生に一度厳しく注意されて、ドン底まで落ちたけど、それをバネにして土、日も頑張って練習して前日には最高の歌を歌えて、この調子で本番も本気で歌った。結果は負けたけど後悔はしていない。どのクラスも必死で学年全員が頑張っていたから、最高の合唱コンクールだった。
- ・いろんな面で、中途半端だった2組を変えてくれた先生に本当に感謝している。変わってからの2組はより一つになった感じがした。練習は辛いときもたくさんあったけど、辛かったからこそよい合唱ができるんだと思った。当日の合唱は本当によかった。歌っていて本当に気持ちがよかった。
- ・最初は見た目だけでしかヤル気を出していなかった。そんなとき先生がマジの話をしてくれた！みんな反省して、本気でやるっ！て決めた。その後から土、日も集まって練習したりして少しずつ一つになっていった。ラスト4日ぐらいホントにクラスがまとまっていい練習ができたと思う。本番は本当に緊張した。思っていた以上により青葉が歌えた。少し速くなったりとかしたけど、全員が心で歌ったからマジよかった。こんなサイコーのメンバーでサイコーの歌を歌えてマジよかった。2組サイコーまじみんなありがとう。先生ありがとう。
- ・合唱コンクールまでは、本当にいろんな事があった。最初は、「合唱頑張ろう！」っていう雰囲気ばかりで盛り上がっていて、一人一人の気持ちが高まっていなかった。その結果、直前になって悔しい思いもしたし、辛い思いもした。でも、そんなみんなの思いが合唱までの必死のラストスパートにつながったんだと思う。最後は本当に全員が一生懸命だった。本番は、最高の青葉を歌えたと思う。スタート地点が低かった2組の合唱が皆さんに感動を与えられたのは、一人一人の一生懸命さがあったからだと思う。クレインでは、2組らしさが出た。努力の青葉が響いた。

- ・どのクラスもいろんな問題があってバラバラになりかけたときもあったけど、本番はみんな一つになって歌えていた。本番が近づくまで3組の限界の合唱はできてなかったけど、本番2日、3日のなかですごい声が出るようになってよかった。一つのクラスは舞台裏で聞いたけど、すごくきれいで3組も頑張ろうって改めて思えた。自分たちの歌が終わって急に涙が出てきて、2組と1組の歌のときはなぜかすごい涙が出てきた。気持ちが伝わってくるすごい歌だった。
- ・最初はみんなの気持ちがまとまらず、思うように練習ができなかった。けど、練習していくうちにどんどんとまとまりができ、みんなの目が本気になってきた。だけど、スランプが出てきたりで大変だった。最後はみんなの気持ちが一つになって、仲間の事を信じ合えることができた。今まで一番最高の合唱コンクールになった。クラスアピールを覚えるのが大変で、発表の寸前まで頑張った。すごい緊張して足が震えたけど思った以上に声が出て最高の合唱ができた。歌うときは賞とかどうでもよくなって悔いが残らなければそれでいいと思った。他のクラスの合唱を聴くのはよかったけど、心の奥では早く終わってくれーと思っていた。
- ・遅れて来る人がいたり、音程が合ってなかったりして、たくさん注意しあった。歌い方とか、礼の仕方とかも工夫した。みんなの気持ちがなかなか一つにならなかったけど2年生と聞きあいつこしてから、負けてられん、と集中するようになった。このクラスで何か一番になった事がなかったし、これが最後の団結するときだと思ったから、いい歌を歌いたかった。他のクラスより早く集まったりして今までやってきたから、後悔したくなかった。想いを届けたかった。
- ・初めは、全然みんなの気持ちが1つにならず、男女のすれ違いとかがありました。でもすぐには解決しようと思わず、そのままに練習を続けていました。そんな3組に涙を流したり悩んだりした子もいました。私たち3組が一つになったのは本番の前日です。遅いかもしれないけどみんな一つになれたのは本当によかったと思います。本番では本当に楽しんで歌うことができました。たぶん他のみんなもそうだったと思います。全員の気持ちや想いが一つになって歌えたと思うし、聞いている人にも届いたと思う。3組だけじゃなく、3年全員がそうだと思うし本当にいい歌が響いたと思いました。
- ・なかなか男子が本気になってくれなくて、イライラしたときもあった。でも、本番数日前の男子は心が一つになり、すごくきれいな歌を歌ってくれてすごく嬉しかった。終わってみると本当に短い数十分がとても楽しかったと思えた。
- ・気持ちがまとまることで、曲に対する想いも一つにまとまりました。「ああ、合唱ってこんなに良いものなんだなあ」と心の底からそう感じました。このような合唱を作れるこのクラスは私の誇りです！！練習では「想いをこめて」と言って練習してきました。だけど本番では「楽しんで」に変えました。いざステージに立つと緊張すると思っていたのですが、皆リラックスしていて、いつもの雰囲気と同じ感じがしました。実際に歌でも皆のびのびと歌えていました。そして、すごく楽しかったです。考えを変えることでここまで合唱って変わる物なんだなあと感じました。すごく感動しました。みんな、ありがとう。

- ・本番当日までは先生に一度昔の北辰の3年生の話をしてもらい、そのときから少しずつ4組の合唱ができあがって来ました。でも、男子は女子よりヤル気がなく中間発表になりました。でも中間発表の自分たちの歌をできていると思いきややはり男子はヤル気にはなりません。しかし本番前日の男子はいつもと違い、女子がいなくてもピロティーで歌の練習をしていました。そして、女子が帰って来たときに合唱してみるとすごい歌になっていました。そのときの練習は最高だったと思います。結果は3組に負けてしまいましたが、1, 2組はもちろん4組は最高の合唱ができたと思います。他のクラスの発表も感動しましたが、やはり練習を共にしてきた4組のみんなで作った歌はずっと心に残ると思います。みんなと作った歌は最高の歌です。
- ・女子への反発もあったし、男子が本気になるのに時間がかかって大変な思いをした。けど、男女が本気になってからの成長はすごかった。「最後やし、精一杯歌おう！」と思う気持ちが強かった。あの場所では最高に近い歌を歌えたと思う。歌っていて本当に気持ちよかった。
- ・なかなかクラスが一つにならなくて、何回もイヤになった。でも、話し合いで少しまとまったと思う。コンクール前日に4組はいっきによくなって完全に一つになった。それまでなかった絆がいきなりできて、本当に何か問題を解決したときには、これまでにない団結力がつくんだと学んだ。正直ダメだと思ったけど、最後は仲間を信じ自信を持って歌えた。本番、もう最後やって思うとすごく悲しかった。でも、今できるのは、最高の歌を歌うこと、自分たちの心に花を咲かせることだと思ったから、みんな一人一人が精一杯歌えたと思う。3年4組の歌をみんなの心に届けて、決して色あせることのない、大切な瞬間にしようという思いで歌った。結果は優勝じゃなかったけど、悔いは残っていないし、みんなの心が一つになったから良かった！まじ感動。
- ・練習を始めた頃は、声も小さいし不安だったけど、女子がだんだん出るようになってくるとほっとした。ただ、男子が他のクラスの男子に比べると小さくて女子が「もっと」と言うたびに、逆に小さくなる感じだった。そのことで女子の中心になってた数人がすごく悩んだりした。でも、本番前日に男子が自分たちだけで練習して、すごく大きい声が出て、女子は感動のあまり泣き出す人続出。練習不足だと思ったけど、心は一つになれたから練習してきた日々は無駄じゃなかった。3年生になって何か大きな行事が終わるたびに絆が太くなって、でも、そのたびに別れが近づいていることがわかって、すごく楽しいけど悲しかったりさびしかったりした。
- ・やっと完成した歌をみんなに聞かせたい！！という気持ちが一番強かった。色々あって泣いたり悩んだり先生に助けてもらったりもしたけど、この34Hのメンバーでしか歌えない歌を聞かせたかった。そして、みんなの心が一つになれば、こんな最高の歌を作り上げることができる！！ということ伝えてきた。
- ・最初は本当に声が出ませんでした。でも、当日が近くなるうちにみんな本気になってきた。みんな休みの日も集まって歌の練習をして頑張った。当日の朝の練習のとき、いろんな思いがこみ上げてきて涙がなぜか出てきた。ここまで練習できたからだと思った。後悔だけはしたくなかったし、思い切り歌えた。合唱の途中で言う、「今、情熱の花をさかせます」を本当に咲かせられたらと思います。